

大型で勢力の強い 台風に備えましょう

地球温暖化の影響により、近年は「今まで経験したことのない台風」が発生し、国内においても大規模な災害が毎年のように発生しています。例年9月から10月にかけては、大型で強い勢力の台風が日本に接近・上陸する可能性が高い時期となるため、物心両面の準備をしておく必要があります。

分量が多くなり、がけ崩れ・土石流・地すべりが発生しやすくなります。

② 河川の氾濫による浸水害

強い勢力の台風が接近すると、短時間に大量の雨が降り、河川の水位が急激に上昇して、河川の氾濫や堤防の決壊が発生する可能性が高くなります。

③ 高潮・高波による浸水害

台風が接近すると、気圧の低下に伴う「吸い上げ効果」により海面が上昇します。さらに、強風による吹き付けと高波により海岸沿いの低地や漁港周辺の浸水害が予想されます。

台風により

予想される災害は？

① 豪雨による土砂災害

大型の台風が接近すると、降水域が広いいため、比較的長い時間が降ることが予想されます。このため、土壌の水

④ 暴風による影響

台風の接近により、強い風が吹きます。強風域（風速が秒速15m以上）に入ると傘をさして屋外で行動することが困難になり、暴風域（風速が秒速25m以上）に入ると看板



や瓦などが飛び始め、屋外での行動が危険な状態になります。

次のことを心がけましょう

情報を収集しよう

市では、台風の接近に伴い「防災行政無線」「音声告知端末機」「防災メール」などを通じて、台風情報の提供、自主避難の呼びかけ、避難指示等の発令情報を伝達します。また、自らテレビ（データ放送含む）、ラジオ、インターネットやスマートフォンアプリなどで情報を収集することも大切です。

▼防災メール登録方法はこちら



防災行政無線



音声告知端末機



防災メール

別表 警戒レベルと市民がとるべき行動

警戒レベル	避難情報（気象情報など）	市民がとるべき行動
5	緊急安全確保（大雨特別警報など）	命の危険 直ちに安全確保！
警戒レベル4までに必ず避難		
4	避難指示（土砂災害警戒情報など）	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難（大雨・洪水警報など）	危険な場所から避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	避難に備え自らの避難行動を確認
1	早期注意情報（警報級の可能性）	災害への心構えを高める

高

危険度

低



◀ 長門市WEB版ハザードマップはこちらから



台風は、穏やかな状態から急に強い降雨と強風となりま
す。悪天候になってからの避難は、極めて危険な行動となるため、いま一度、ハザードマップなどを活用して避難の必要性を確認し、市の伝達情報やテレビ・ラジオからの情報を参考に、別表「警戒レベル」と市民がとるべき行動」に基づき、安全の確保に努めてください。

市ホームページに、お住まいの地域の各種災害の危険性をわかりやすく閲覧できる「WEB版ハザードマップ」を掲載していますので、ご利用ください。

避難の判断を適切にしよう

開設予定の避難所について

避難場所を確認し、いつでも避難できるように備えましょう。周囲の状況や風の強さや、雨の降り方に注意して、少しでも危険を感じた場合には自主避難をしてください。

市が発表する「開設避難所」の情報（自主避難をされる場合や、警戒レベル3の「高齢者等避難」、警戒レベル4の「避難指示」などが発令された場合）に注意して、必要に応じて速やかに避難してください。

市が発表する避難情報は防災行政無線、音声告知端末機、防災メール、ホームページ、ほつちやテレビのローカル放送、FMアークア（緊急時）から得ることができます。

※市内には61カ所の避難所・避難場所がありますが、災害時において、そのすべてが開いているわけではありません。「開設避難所」については、市内10カ所程度を開設することとしています

問 防災危機管理課

☎ 23-11111

市では自主防災組織の設立を推進しています

災害発生時など市民の皆さん個人が命を守り、危険から回避していただく「自助」、地域（自治会など）で助け合い地域の皆さん全員の安全を守っていただく「共助」、国、県および市が実施する災害対策である「公助」を有機的に連携させ、「災害に強い長門市」を市民の皆さんと一体になって作り上げるため、自治会単位の組織率100%を目指し、自主防災組織の設立を推進しています。

自主防災組織の活動

自主防災組織の日頃の活動としては、「防災知識の普及、地域の災害危険性の把握、防災訓練の実施、家庭等の安全点検、防災用資機材の整備など」があります。

災害時においては、「情報の収集・伝達、出火防止、初期消火、住民の避難・誘導、負傷者の救出・救護、給食・給水など」が挙げられます。

しかし、現実的には自治会

口の減少や高齢化などの問題があり、すべての活動ができないため、設立は困難と思われるかもしれませんが、各自自治会の特性を踏まえ、状況に応じた活動を行い、住民の安全を守るために設立することが大切です。

《自主防災組織の活動例》



▲ 俵山地区防災計画のワークショップ



▲ 板持地区の防災講座



▲ 大畑地区での物資配送訓練

自主防災組織の設立方法

自主防災組織の設立には、組織の規約、編成、活動計画書を作成し、市に設立届を提出していただき、認定を受ける必要があります。

防災危機管理課では、自治会への事前説明から、書類作成までのサポートを行います。

また、防災用品・備蓄品など整備の補助金申請手続、「防災講座」の開催や、防災訓練については計画の段階からお手伝いします。

単独の自治会で組織化が困難な場合は、複数の自治会が連携協力して組織化することも可能です。

設立に関する問い合わせは、防災危機管理課までご連絡ください。

※令和5年8月18日時点の情報です

お知らせ 「新型コロナワクチン接種」 について

ワクチン接種を受けるには予約が必要です。

令和5年秋開始接種について 9月20日（水）から開始予定**✓ 対象者** 初回接種（1・2回目）が完了した生後6カ月以上のすべての人**✓ 接種券**

令和5年秋開始接種の接種券は白色です。対象者には、接種履歴に基づき順次接種券を発送します。接種を希望する人は、接種券が届いたら予約をして接種を受けてください。

予約の受付は9月13日（水）から開始します。

（注意1）

令和5年春開始接種の接種券の交付を受けた人で、春開始接種を接種していない人は、未使用の春開始接種（白色）接種券を秋開始接種券として使用してください。（秋開始接種として新たな接種券は発送されません）

（注意2）

転入者など長門市での接種歴のない人は、接種履歴のわかるもの（接種済証・接種証明書など）の写しを添えて、接種券の発行申請が必要です。

✓ 使用するワクチン（予定）

オミクロン株（XBB.1.5）対応ワクチン（モデルナ社またはファイザー社）

✓ かかりつけ医療機関での接種を希望する人は、各医療機関にご相談ください**✓ 集団接種の日程表（高校生以上）**

日程	接種会場	接種日	受付時間	備考
①	長門市地域医療連携支援センター （長門市応急診療所併設）	9 / 30（土）	13:15～15:30	接種会場までの 送迎バスあり （区域内）
②		10 / 5（木）		
③	三隅保健センター	10 / 7（土）		
④	長門市地域医療連携支援センター	10 / 12（木）		
⑤	日置保健センター	10 / 14（土）		
⑥	長門市地域医療連携支援センター	10 / 21（土）		
⑦	ラポールゆや	10 / 26（木）		

※無料送迎バスの利用を希望する人は、接種予約と合わせて申し込みください

📄 集団接種の予約方法

専用ダイヤル TEL 27-0156
（平日9:00～17:00 土日祝日を除く）
聴覚に障害があるなど電話が難しい人は
FAX 23-1168



◀ WEB 予約サイトは
24時間受付です

<https://jump.mrso.jp/352110>

QRコードを読み取るか、市ウェブサイトからもアクセスできます

令和5年春開始接種について 9月19日（火）まで接種期間を延長**初回接種がまだの人**

9月20日（水）以降は、オミクロン株（XBB.1.5）対応ワクチンでの接種となります。（予定）
詳しくは問い合わせください。

📄 接種券の申請、問い合わせ

健康増進課 コロナワクチン接種推進室 TEL 23-1132（平日8:30～17:15 土日祝日を除く）

9月9日は「救急の日」

《救急医療週間 9月3日(日)～9日(土)》

救急の日とは

「救急の日」および「救急医療週間」は、救急医療および救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められ、以来、毎年9月9日を「救急の日」、この日を含む1週間を「救急医療週間」としています。

令和4年中の救急概要

令和4年中、長門市の救急出場件数は、1,965件、搬送人員は1,865人と、前年に比べ出場件数は216件増加し、搬送人員は198人増加となりました。救急出場は1日平均5.4件、人口搬送率は17人に1人の搬送割合となりました。

また、高齢者の搬送割合は75.0%と、全国平均の62.1%と比べると高い状況にあります。



救急車の適正利用にご協力をお願いします！

救急車は限りある医療資源です。全国的に救急件数は増加しており、長門市でも昨年に比べ救急件数が増加しています。

そのために、本来に救急車が必要な人に救急車がすぐに出場できないことがあります。



救える命を救うために

近年、軽い症状でも救急車を利用する人が増え社会問題となっています。119番通報する前に、救急車が本当に必要か、自家用車やタクシーなどの一般的な交通機関を利用できないか、もう一度考えてみてください。



次のような症状がある場合は迷わずに救急車を

- ・言葉が出にくい。突然片方の手足に力が入りにくくなった
- ・突然の激しい頭痛
- ・胸が締め付けられるように痛い、痛む場所が移動する
- ・息苦しい、呼吸がしにくい
- ・意識がない、けいれんを起している

救急車の誤った利用例

- ・今日は入院日だから
- ・自家用車が無いから
- ・早く診察してもらえから
- ・無料だから、タクシーだとお金がかかるから

救急車(119番通報)を呼ぶか迷ったときは

「すぐに病院に行ったほうが良いか」や「救急車を呼ぶべきか」、迷った時は、救急安心センター事業(＃7119)に電話してください。



まだまだ残暑が続きます！
下記の熱中症予防カードを参考に、
熱中症には十分気を付けましょう。

問 消防本部警防課救急係 ☎22-5295
▶ 消防本部ホームページはこちらから



こんな人は特に注意

持病のある人は記入しておく
と医療機関で適切な治療を受けることができます

肥満の人
持病のある人
高齢者・幼児
暑さに慣れていない人

既往歴	平熱
服用薬	その他
連絡先	

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

熱中症の予防法

日陰を利用
こまめに休憩
暑いときには無理をしない
日傘・帽子
涼しい服装
こまめに水分・塩分を補給

室内でも温湿度を測りましょう
体調の悪いときは特に注意しましょう

熱中症予防カード

こんな症状があったら熱中症を疑いましょう

めまい
立ちくらみ
筋肉痛
汗がとまらない

意識がない
けいれん
高い体温である
呼びかけに対し返事がおかしい
まっすぐに歩けない、走れない

軽
中
重

頭痛
吐き気
体がだるい(倦怠感)
虚脱感

環境省

こんな日は熱中症に注意

急に暑くなった

気温が高い
湿度が高い
風が弱い

1 熱中症になった時の処置は
意識がある、反応が正常な時

涼しい場所へ避難させる
衣服を脱がせ、身体を冷やす
水分・塩分を補給する

ただし、水を自力で飲めない、または症状が改善しない場合は直ちに救急隊を要請しましょう

2 熱中症になった時の処置は
意識がない、反応がおかしい時

救急隊の要請をする
涼しい場所へ避難させる
衣服を脱がせ、身体を冷やす
医療機関に搬送する

倒れた時の状況が分かる人が医療機関に同行しましょう

環境省 熱中症予防情報サイト(スマートフォン・携帯対応)
http://www.wbgt.env.go.jp/sp